

科目名 (英)	トレンドネイル I Gel Nail for fashion	年次	2	実務経験	担当	殿村雅子・瀧内智子
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティー科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	水曜日1・2限
講師紹介	木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属講師 日本ネイリスト協会本部認定講師として活躍し教育に従事					
目的 科目概要	ジェルネイルの基本を知識として身に付け、技術や知識の手順を学ぶ。同時にアートの仕方・グラデーション・デザインなども理解しながら受講してほしい。 ジェルネイルの基礎技術を習得し、必ずジェルネイル検定初級に合格出来るよう授業を行う。その為には、中間試験と期末試験を取り入れ技術面と知識に置いてしっかり勉強し、合格基準に持っていけるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ジェルネイル初級に合格できるデザインアートを勉強し身に付ける。 ジェルアートを覚えデザイン性のあるジェルネイルが施術できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験					
教科書	JNAテクニカルシステムベーシックジェルネイル	事前事後 学習と その内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。			
教材	ネイル道具一式					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルネイルの基本を知識として身に付ける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】教材確認、道具の名称、使い方をデモンストレーションで解説。ジェルネイルに触れてみる。ハンドを使用 【履修確認】小テスト2点
2	プレパレーションの重要性を学ぶ	【授業形態】講義・実習 【到達目標】プレパレーション～アプリケーショントレーニング。ナチュラルネイルのオーバーレイ、カラージェル1色塗り。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
3	ジェルネイルの基本の手順を覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニング カラージェル1色塗り 【履修確認】小テスト2点・課題点2点
4	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。相モデルトレーニング(タイムトライアル) 【履修確認】小テスト2点
5	ジェルネイル検定初級のアートレベルを上げる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ピーコックデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
6	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】ジェル検定初級内容 片手ケア・ジェルカラー赤・ピーコック 【履修確認】中間試験20点
8	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
9	ジェルネイル検定初級直前対策	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
10	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ドラッグアート(マープル・ピーコック)のデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
11	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ドット・フラワーアートのデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
12	グラデーションの習得	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデーションのデモンストレーション。相モデルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
13	ジェルネイル検定初級直前確認	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。事前確認、仕込み。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
14	デザイン性のあるジェルネイルが施術できるようになる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】カラー・ラメを組み合わせアートする。相モデルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】両手ジェルカラー、アート 【履修確認】期末試験50点

科目名 (英)	セルフプロデュースⅠ trend research	年次	2	実務経験	担当	生田元慶
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	金曜 / 1・2限
講師紹介	大学時に企業し、現在は株式会社BEYONDLuneタレント事業統括責任者、CM、PVのショート動画制作とZ世代を皮切りにモデル・タレント等のキャスティング事業に注力しこの経験を教育育成へ務めている					
目的 科目概要	トレンドリサーチで学んだ各SNSの応用を学び、トレンドリサーチⅠで学んだデジタルマーケティング・配信・企画のプレゼンテーション力を活かして、自身の魅力を効果的に発信する方法を実践形式で取得を目指す。					
到達目標	インフルエンサー、または企業広報としての発信技法を身につけ、企業からみて「即戦力」と判断をいただけるレベルに到達する					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	適宜紹介する /ipad/筆記用具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	セルフプロデュース①振袖編	振袖・卒業袴の業界知識とSNSの活用親和性
2	セルフプロデュース②振袖編	振袖・卒業袴のコンテンツ制作・撮影
3	セルフプロデュース③振袖編	投稿制作の実習・制作時間
4	セルフプロデュース①・写真・カメラ編	カメラマンの講師より各生徒に合わせた写真撮影方法のレクチャーをディスカッション。
5	セルフプロデュース②・写真・カメラ編	カメラマンの講師より各生徒の撮影を実演。
6	セルフプロデュース③・写真カメラ編	撮影写真・素材の編集レタッチ
7	中間テスト	インサイト分析
8	セルフプロデュース⑦制作編	制作会社の講師より各生徒の特徴にあうオーキング・ポージング・素材活用をディスカッション。
9	セルフプロデュース⑨制作編	制作会社の講師より各生徒の特徴にあうスタイルを実演。
10	セルフプロデュース⑩制作編	フィード撮影動画・素材の編集と投稿
11	セルフプロデュース⑫コスメ・メイク編	アパレルクリエイターの講師より各生徒の特徴にあうファッションをディスカッション。
12	セルフプロデュース⑬コスメ・メイク編	アパレルクリエイターの講師より各生徒の特徴にあうファッションを実演。
13	セルフプロデュース⑭コスメ・メイク編	撮影動画・素材の編集と投稿
14	投稿相談会	SNS運用がうまく行っているかどうかを振り返り、分析する力を身につけるための実習。
15	期末試験	課題提出と発表

科目名 (英)	接客マナー manner	年次	2	実務経験	担当	石田智子
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	木曜3限
講師紹介	百貨店などさまざまな接客サービスの現場を経験、専門学校講師として「おもてなし」「コミュニケーション」の講義を担当。接客サービスの現場ですぐに役立つ「サービス接客検定」の内容を現場経験を交えて講義を行う。検定合格に向けて、効果的な学び方を用いて授業を行うので積極的に参加すること。					
目的 科目概要	社会人に求められる、一般常識やマナーについての基礎知識を「サービス接客検定3級」テキストで学び、人間力を高め、お客さまやチームメイトからも信頼、指名される接客能力を身につける。					
到達目標	サービス接客検定3級に合格を目指す。 社会人としてのビジネスのマナー、販売員としての基礎知識学び、実例問題を解くことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書	サービス接客検定3級テキスト			事前事後 学習と その内容	サービス接客3級過去問題は、授業内だけでなく積極的に取り組むこと	
教材						
特記事項	筆記用具一式・テキスト・iPad持参。ロールプレイ・グループワークの際は積極的に参加すること					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ			授業内容		
1	科目オリエンテーションⅠ サービススタッフの資質			科目オリエンテーション・検定概要・テキストP1～P29必要とされる要件		
2	Ⅰ サービススタッフの資質・Ⅱ 専門知識			テキストP30～P64 従業要件・サービス知識		
3	Ⅱ 専門知識・Ⅲ 一般知識・Ⅳ 対人技能			テキストP65～P86 従業知識・社会常識・人間関係		
4	Ⅳ 対人技能			テキストP87～P112 接客知識・話し方①		
5	Ⅳ 対人技能			テキストP113～P120 話し方②		
6	Ⅴ 実務技能			テキストP122～133 問題処理・環境整備		
7	中間試験・Ⅴ 実務技能			中間試験実施・テキストP134～139 金品管理		
8	Ⅴ 実務技能			テキストP140～144 社交業務		
9	検定前まとめ・対策			検定前まとめ・対策		
10	ユニバーサルサービス①			お手伝いが必要なお客さまへの対応知識		
11	ユニバーサルサービス②			お手伝いが必要なお客さまへの対応知識		
12	接客マナー①			仕事の基本(挨拶と返事・報告連絡相談)等		
13	接客マナー②			電話応対・来客応対・文書作成(社内文書と社外文書・手紙・はがき)		
14	接客マナー③			金銭授受(現金・キャッシュレス決済・クレジットカード)・領収書記入		
15	まとめ、定期試験対策／定期試験			定期試験		

科目名 (英)	ブランド研究Ⅱ brand research	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 1・2限
講師紹介	ELCジャパン(株)M.A.Cに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。					
目的 科目概要	今季のトレンドコスメ、トレンドメイク、話題のスキンケアなどを研究。					
到達目標	各ブランドの人気メイクアイテムやスキンケアアイテムを調べ、ブランドをより知ることができる。Instagram投稿ができるようなメイクで写真を撮ることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	いろんなブランドに興味をもつ	
教材	学校教材					
特記事項	ipadを毎回使用します。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	百貨店ブランド深掘り	ブランドをざっとおさらい。スキンケアブランド、メイクブランド。化粧品品の販売業態、流通システム、業界の動向など
2	ブランド人気スキンケアアイテムについて	スキンケアのおおまかな構造、成分を知る。肌トラブルおさらい
3	教材のデパコススキンケア調べ	SK-II、コスデコ、IPSA、クリニークのアイテムを実際に研究
4	モードブランドのメイク研究	Instagramをみて、さながらのメイクを施してみる
5	資生堂、カネボウ、コーセー、アルビオン	国産ブランドアイテム研究
6	キュートブランドのメイク研究	Instagramをみて、さながらのメイクを施してみる
7	中間試験	6週目までを振り返り、研究発表
8	エスティ、LVMH、ロレアル	ブランドアイテム研究
9	プチプラブランド研究	ダイソーコスメとデパコスを半々で使用し、違いを研究。
10	現場売上管理、雑誌の研究	売上管理のやり方。雑誌を見て、SNSとの発信方法の違いを研究
11	コンテスト対策	1年生との交流会など
12	コンテスト対策	テーマに沿ったデザインシートを作成する
13	コンテスト対策	相モデルで実技練習をする
14	定期試験準備	プレゼンに重きをおく
15	定期試験	

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career Development	年次	2	実務経験	担当	相馬 ひかり
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分	前期
					曜日・時間	木曜日 4限
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。 ②就職活動が活発になり、意欲的に取り組むことができる。 ③自己発見を行い、希望の就職先への内定に繋げる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	自身の時間管理・体調管理を整えて授業に臨みましょう。 グループワークでは自身の発表を進んで出来るように準備をしておきましょう。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	インターネットマナー・個人とクラス目標	インターネットを学び、ITリテラシーを再度確認をする、自己分析をする 目標についてどのように取り組むか自分たちで決める
2	クラスコミュニケーション	クラスコミュニケーションを通して自分の意見を共有する 他者の意見を取り入れて考える力を身につける
3	①就職講座 ＜守るべき学校のルール＞	就職活動に向けて、学校で守らなければならないルール
4	②就職講座 ＜SNSメールのやりとりの仕方＞	SNSメールの文章構成や、送信する際の注意点についてを学ぶ
5	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
6	ベルリンピックについて	ベルリンピックの作戦をクラス会議で行い、チームメンバーとしての役割を知りクラスマネジメントを行う
7	③就職講座 ＜電話マナー・オンライン面接マナー・お礼状の書き方＞	職活動において、基本的なマナーを知り職業人としての自覚をもって行動できるようになる
8	中間試験	中間試験(1-6回目のまとめ)
9	④就職講座 ＜社会人基礎力を身につけるⅠ＞	社会人として生活していく上での身の回りのお金使い方や社会人としての義務
10	⑤就職講座 ＜社会人基礎力を身につけるⅡ＞	社会人として生活していく上での身の回りのお金使い方や社会人としての義務
11	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる コンテストに活かせるように意欲的に参加する
12	コンテスト対策	コンテストに向けて感性を磨き、オリジナリティのある作品が作れるようにする
13	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇に向けて準備しておきたい項目を理解する 夏休みの課題について
14	定期試験	中間試験(9-14回目のまとめ)※夏休み課題に関連したもので設定
15	1学期の振り返り・今後に向けて	目標の振り返り、後期に向けて目標再設定を行う。

科目名 (英)	トレンドリサーチⅡ trend research	年次	2	実務経験	担当	生田元慶
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	火曜 / 3・4火限
講師紹介	大学時に企業し、現在は株式会社BEYONDLuneタレント事業統括責任者、CM、PVのショート動画制作とZ世代を皮切りにモデル・タレント等のキャスティング事業に注力しこの経験を教育育成へ務めている					
目的 科目概要	業界に求められるデジタルスキルを習得を目的とする演習形式の授業 各SNSの応用を学び、トレンドリサーチⅠで学んだデジタルマーケティング・配信・企画のプレゼンテーションをプログラムできるプログラミング力を学ぶ					
到達目標	インフルエンサーレベルでのマーケティング・撮影&動画編集スキルを身に着け、SNSをビジネスの場で活用できる人材を目指す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)59点以下を不合格とする。()は、GPA。 なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	自己ブランディングを行い発信力を学ぶ	
教材	適宜紹介する /ipad/筆記用具					
特記事項						
回数	授業テーマ			授業内容		
1	SNSトレンド①・振袖編			振袖・卒業袴の業界知識とSNSの活用親和性		
2	SNSトレンド②・振袖編			振袖・卒業袴のコンテンツ制作・撮影		
3	SNSトレンド③・振袖編			投稿制作の実習・制作時間		
4	SNSトレンド④・音楽編			音楽や音の業界知識とSNSの活用親和性		
5	SNSトレンド⑤・音楽編			音楽や音を使ったコンテンツ制作・撮影		
6	SNSトレンド⑥・音楽編			投稿制作の実習・制作時間		
7	中間テスト			投稿分析・インサイト分析とフィードバック		
8	SNSトレンド⑦コスメ編			コスメ・美容の業界知識とSNSの活用親和性		
9	SNSトレンド⑨コスメ編			コスメ・美容商材を使ったコンテンツ制作・撮影		
10	SNSトレンド⑩・コスメ編			投稿制作の実習・制作時間		
11	セルフプロデュース⑪芸能編			芸能事務所の講師より各生徒の特徴にあウオーキング・ポージング・素材活用をディスカッション。		
12	セルフプロデュース⑫芸能編			芸能事務所の講師より各生徒の特徴にあうスタイルを実演。		
13	セルフプロデュース⑬芸能編			撮影動画・素材の編集と投稿		
14	投稿相談会			セルフプロデュースの授業でも実際のSNS投稿を行なっているので、両授業の中で課題に思っていることなどを相談、解決策をともに見つけ出す。		
15	期末試験			投稿分析・インサイト分析とフィードバック		

科目名	メイクアップ総論Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
(英)	General Make Up Ⅲ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科	トータルビューティー科	単位	4		曜日・時間	金曜 1,2限
講師紹介	20年以上のキャリアを持ち、メイク・ヘアセット・特殊メイクまで幅広く手がける。化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社の経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティーアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会シルバー資格を取得する。					
到達目標	化粧品販売員検定シルバーの内容を理解し80点以上を目指す。ビューティーアドバイザーとしてのメイクテクニックを習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C(2.0)、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	いろんなブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	ipadは毎回使用します。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	化粧品学(応用)1&トレンドカラー①国内ブランド	薬事法・化粧品成分・美白成分・最新有効成分などを習得①国内ブランドメイクの特徴を理解しメイクを習得する
2	化粧品学(応用)2&トレンドカラー②韓国ブランド	品質向上・安定化成分・メイクアップ構成成分・フレグランスなどを習得②韓国ブランドの特徴を理解しメイクを習得する。
3	皮膚科学1&トレンドカラー③中国ブランド	皮膚とは・血液リンパ・季節と肌などを習得③トレンドカラー③中国ブランドの特徴を理解しメイクで習得する。
4	皮膚科学2&トレンドカラー④外資系ブランド	スキントypes・肌のトラブルなどを習得④トレンドカラー④外資系ブランドの特徴を理解しメイクで習得する。
5	スキンケア・メイクアップカウンセリング①	カウンセリングシートを使用して悩みをヒヤリングし、適切にメイクアップをアドバイス実習する。
6	スキンケア・メイクアップカウンセリング②	カウンセリングシートを使用して悩みをヒヤリングし、適切にメイクアップをアドバイス実習する。
7	化粧品販売員検定シルバー・4シーズンカラー期末試験対策	CAAシルバー筆記試験
8	パールトーンカラーメイク①	トーンの理解・パールトーンカラーメイクを実習する。
9	ビビットトーンカラーメイク②	トーンの理解・ビビットカラーメイクを実習する。
10	ディープカラーメイク③	トーンの理解・ディープカラーメイクを実習する。
11	類似配色メイク	類似配色の理解・類似配色メイクを実習する。
12	反対色メイク	反対色配色の理解・類似配色メイクを実習する。
13	モノトーンメイク	モノトーンのメイクを実習する。
14	定期試験対策	定期試験カラーメイク対策
15	定期試験	カラーメイク

科目名 (英)	スキンケアカウンセリングⅡ skin kaunseringuniⅡ	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	前期(1週～7週目)
		単位	2		曜日・時間	A火曜3.4限/B金曜3.4限
講師紹介	国内外で勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員が、エステ機器に対する知識を丁寧に指導する。一人ひとりの肌や体の状態には違いがあることを理解し、効果的な方法を実践出来るようになってほしい。					
目的 科目概要	目的:フェイシャルエステの基礎理論と基礎技術を身につける。 概要:クレンジング、フェイシャルマッサージを正確に行うための理論と実技を学ぶ					
到達目標	・お客様に合わせたボディ・フェイシャル機器を選択でき、効果的な施術を行う					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。 これまでのエステに関する資料も毎回持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要 サクション	この授業の進め方、ボディトリートメントの種類と流れを説明 サクションの効果、禁忌事項、手順を理解する
2	G5	G5の効果、禁忌事項、ヘッドの種類、手順を理解する
3	低周波	低周波機器の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
4	ストーンセラピー	ストーンセラピーの効果、禁忌事項、手順を理解する
5	イオン導入 マッサージ	イオン導入の効果、禁忌事項、注意事項、導入液の種類、手順を理解する
6	パター パック	パターの効果、禁忌事項、注意事項、リンパの知識、手順を理解する
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

(英)	スキンケアカウンセリングⅡ skin kaunseringuni Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	伊藤 葉子
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	前期(8週～15週目)
学科	トータルビューティー科	単位	2		曜日・時間	火曜日/3～4限
講師紹介	エステティック講師の資格を有し、エステティック教育に20年以上尽力してきた講師が、コスメマイスター検定に必要な知識をわかりやすく丁寧に講義する。					
目的 科目概要	目的:コスメマイスター検定資格首取得のために必要な知識を習得する 概要:化粧品や肌についての基礎知識を学ぶ					
到達目標	・日本コスメティックス協会コスメマイスター検定に合格する ・学んだ知識を活用し、お客様とコミュニケーションがとれるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書	日本コスメティック協会検定テキスト			事前事後 学習と その内容	・毎回の授業後ノートを清書し、資料をファイリングする。(20分) ・授業前日にコマシラバスを確認し、テキストを用意し内容を確認する。(10分)	
教材	プリント適宜配布/筆記用具持参					
特記事項	授業の内容はメモを取ること。無断録画無断撮影は禁止。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	科目概要説明 テキスト01～17	この授業の進め方 化粧品の定義・化粧品の主な成分
9	テキスト018～36	洗浄、化粧水、美容液、クリーム、乳化、パック、紫外線ケアについて
10	テキスト037～62	メイクアップ化粧品、ファンデーション、シャンプー、カラーリング、フレグランス、アレルギー、油性原料、保湿剤、美白剤について
11	テキスト046～66	老化因子と活性酸素、育毛剤、界面活性剤、防腐剤、紫外線カット剤、水性原料、着色料、香料について
12	テキストQ81～98	皮膚の構造と役割、美しい肌について
13	テキストQ99～117	肌質タイプの分類、乾燥肌について
14	テキストQ118～133	シミ、くすみ、シワ、ニキビ、赤ら顔について
15	模擬試験とコスメマイスター検定試験	日本コスメティックス協会コスメマイスター検定試験

科目名 (英)	フォトシューティング photo shooting	年次	2	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティー科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	火曜 1・2限
講師紹介	20年以上のキャリアを持ち、メイク・ヘアセット・特殊メイクまで幅広く手がける。化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社の経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。					
目的 科目概要	撮影用メイクの技術とフォトジェニックな仕上がりを意識したメイクの表現力を習得することを目的とする。ライティングやカメラの特性を理解し、写真映えるメイクのテクニックを学ぶことで、撮影現場で即戦力となるスキルを身につける。モデルや被写体の魅力を最大限に引き出し、コンセプトに沿ったクリエイティブなビジュアルを作り上げる能力を養う。					
到達目標	フォトシューティングに適したベースメイク、ハイライト・シェーディングの使い方、カメラ映える色選びや質感コントロールを学ぶ。ライティングやカメラの角度によるメイクの見え方の違いを理解し、撮影コンセプトに合わせたメイクを実践。最終的には、フォトグラファーやスタイリストとの連携を意識しながら、プロフェッショナルな撮影メイクを完成させる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	世界コスプレ技術検定協会公式テキスト			事前事後 学習と その内容	クリエイティブな絵画や映画を視聴する。	
教材	メイク道具一式・iPad					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	フォトシューティングの基礎	撮影メイクと通常メイクの違い、カメラ映える肌の作り、光と影の基本
2	ベースメイクのフォトテクニック	撮影に適した下地・ファンデーションの選び方、質感コントロール(ツヤ肌・マット肌) 崩れにくいメイクのコツ
3	顔立ちを引き立てるハイライト&シェーディング	骨格を強調するシェーディング技術立体感を出すハイライトの使い方、モノクロ写真とカラー写真での見え方の違い
4	アイメイクのフォトシューティング技術	アイシャドウの濃淡とグラデーション、まつげ・アイラインの強調方法、カメラ映える眉のデザイン
5	リップ&チークの表現力	表情を引き立てるリップメイクのテクニック、血色感をコントロールするチークの入れ方 モノクロ撮影とカラー撮影でのリップ・チークの工夫
6	中間試験対策	撮影を意識したフルメイク
7	中間試験	撮影を意識したフルメイクを撮影画像にて提出
8	トレンドフォトメイク研究	最新トレンドメイクの分析、SNS・雑誌・広告でのメイク表現の違い トレンドを取り入れたフォトメイク実践
9	テーマ別フォトメイク①(ナチュラル&ビューティー)	肌を美しく見せるメイクの工夫、ナチュラルメイクの撮影用アレンジ
10	テーマ別フォトメイク②(モード&アートメイク)	ファッション撮影向けのモードメイク アーティスティックなメイクの表現
11	ブランドメイクとフォトシューティング	ブランドごとのメイクの特徴を研究 海外コスメ・デパコスを活用したフォトメイク
12	シーン別フォトメイク(ブライダル・広告・ポートレート)	ウェディング撮影向けのメイク、商業フォトのメイクポイント ポートレート撮影のメイク調整
13	フォトシューティング実践①(モデルメイク&撮影)	実際のモデルにメイクを施し、撮影を行う、メイク後の写真チェックと修正ポイントの確認
14	フォトシューティング実践②(作品制作)	自由テーマでフォトメイクをデザイン 作品撮影&プレゼンテーション
15	期末試験	撮影用メイクの総合実技試験 自分でテーマを決め、モデルにメイクを施し撮影

科目名 (英)	トータルビューティⅡ Total BeautyⅡ	年次	2	実務経験	担当	村田 藍
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 3・4限
講師紹介	客室乗務員からイメージコンサルタントとして独立後、現在3,500人の診断実績。大手企業や結婚相談所、自治体でのセミナーや、全国の百貨店イベントの講師としても活動を広げる。また、敏感肌だった経験から肌に関する学びや実践を続け、今ではマイナス10歳の肌年齢に。ファンデーションを使用しなくても美肌を実現できるノーファンデメイク法なども定評あり。					
目的 科目概要	診断、トレンドやTPO別スタイル、様々なファッション・ビューティーブランドの特徴について学び、就職活動に結びつける。 ファッション業界、美容業界での実務に活かせる提案力、スタイリング力、コミュニケーション力を習得する。					
到達目標	幅広いファッションセンスやスタイル、ヘアスタイル、メイク、ネイルとのトータルビューティの考え方を身につけ、 ファッション業界、美容業界での実務に活かせる提案力、コミュニケーション力を磨く。 ファッション業界、美容業界への就職に役立て、実際の現場で即戦力となることを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	ファッション業界を学び自己ブランディングに活かしていく	
教材	別紙プリント					
特記事項	iPad持参					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・PR・トータルビューティ	・講師紹介 ・自己紹介・PR
2	スキンケア・ネイル・コスメ 肌美容について	・スキンケア、ネイル、コスメ、美肌サプリ等 ・紫外線対策をトータルビューティで考える
3	骨格診断実習	・骨格診断をマスターする ・骨格に合わせたコーディネート提案(診断＋提案)
4	診断とメイクとファッションとネイル	・各診断とメイクとファッションの関係性 ・コーディネート作成
5	ファッション業界・ビューティー業界のトレンド	・ファッション業界・ビューティー業界のトレンド ・イベントカレンダーに合わせた提案
6	顔とアクセサリーとファッションの関係性	・アクセサリー・小物 ・ファッションとヘアメイク
7	中間試験	・筆記試験 ・トータルスタイリング 発表
8	ウェディング業界・メンズビューティー研究	・ウェディング業界(ドレス・ブーケ・ヘアメイク・ネイル) ・メンズビューティー研究
9	ファッション・ビューティー業界研究	・ファッションブランド研究(コレクション・リアルショップ・WEB・ファストファッション) ・ビューティー業界研究(デパコス・ドラッグストア・韓国)
10	ファッション・ビューティー業界研究・練習	・店頭案内・試着案内練習 ・点数管理 ・商品在庫管理
11	展示会 or ショップ実習	・展示会 or ショップ実習 予習研究
12	展示会 or ショップ実習	・展示会 or ショップ実習
13	今までの振り返り	・今までの復習 ・試験対策 ・トータルビューティ研究
14	期末試験(筆記・実技)	・筆記試験 ・試験の振り返り ・スタイリング提案、発表
15	トータルビューティ発表・撮影	トータルビューティ発表・撮影

科目名 (英)	実習前教育 education for pre practical	年次	2	実務経験	担当	相馬　ひかり
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	前期
学科	トータルビューティ科	単位	2		曜日・時間	集中授業
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップへ向けて、業界研究・面接指導等を行い、実習の目的・目標を明確にする。					
到達目標	目的、目標を明確にし、実習・インターンシップに参加する準備ができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。 なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験					
教科書	Hand-book of Life Style			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に着けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	実習・インターンシップとは	実習・インターンシップの概要を理解する。
2	実習生の役割と心構え 1	実習ルールを確認し、スムーズに実習を送れるようにする。
3	実習生の役割と心構え 2	接客業としての心構えとプロ意識を学び 専門職として必要な資質を
4	業界研究①	実習から就職への流れを理解し、方法を学ぶ
5	業界研究②	就職の調べ方を学び、業界の知識を深めることができる
6	身だしなみ・マナー・言葉遣い 1	社会人としての服装・清潔感の重要性 敬語や丁寧な話し方の習得
7	身だしなみ・マナー・言葉遣い 2	笑顔とアイコンタクト ロールプレイ
8	中間試験	ここまでの活動を振り返る
9	エントリーシート・履歴書 1	エントリーシート・履歴書を作成する
10	エントリーシート・履歴書 2	エントリーシート・履歴書を完成させる
11	面接練習 1	採用試験に向けて面接練習を行う
12	面接練習 2	採用試験に向けて面接練習を行う
13	面接練習 3	採用試験に向けて面接練習を行う
14	実習前の最終確認	実習の目標設定 所作・言葉遣いのチェック
15	振り返り・自己評価	実習前教育を振り返り、実習へ向けて自己評価を行う

科目名 (英)	現場実習Ⅰ field training	年次	2	実務経験	担当	相馬　ひかり
		授業形態	演習			
				時間数	90	有
学科	トータルビューティ科	単位	6	曜日・時間	実習先のスケジュールによる	
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められることを理解し、実習の目的・目標を明確にする。					
到達目標	実習の目的・意義を理解し、実習へ向けての目標設定をする。					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。 ■					
教科書	Hand-book of Life Style			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に着けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	現場実習先を理解する	オリエンテーションの内容を理解し業務を行う準備をする
2	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	実習面談	これまでの実習を振り返り、課題を明確にし 今後の目的を再設定する
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	現場実習Ⅱ field training	年次	2	実務経験	担当	相馬　ひかり
		授業形態	演習			
		時間数	120			
学科	トータルビューティ科	単位	8	有	開講区分 曜日・時間	前期 実習先のスケジュールによる
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応の基礎を学ぶ					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応の基礎を身に付ける					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。 ■					
教科書	Hand-book of Life Style			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に付けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	現場実習Ⅲ field training	年次	2	実務経験	担当	相馬　ひかり
		授業形態	演習			
		時間数	120	有	開講区分	前期
学科	トータルビューティ科	単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応の基礎を学ぶ					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応の基礎を身に付ける					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。 ■					
教科書	Hand-book of Life Style			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に着けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	トータルサロンⅠ (学内コンテスト) Total saronⅠ (In-campus contest)	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
学科・専攻	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	集中授業
講師紹介	ELCジャパン株式会社M.A.Cでビューティアドバイザーとして13年間勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営にも従事していた。					
目的 科目概要	1年次で学んだ美容知識や技術を振り返り、集大成としてトータルビューティサロンをオープンし、自分自身の課題を見つけ技術や知識を向上させる					
到達目標	美容の職種で大事な、提案力や接客力を磨き、お客様に指名される美容のプロを目指すようになる。カウンセリング力やコミュニケーション力を養うロールプレイングにて、セルフプロデュース表現力を磨く					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 ■提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	事前にコマシラパスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	トータルビューティサロンとは	サロンを立ち上げるうえでの知識・技術の概要を学ぶ
2	サロンテーマ	学内にてサロンをオープンするにあたり、全体のテーマを決める
3	業界を学ぶ①	エステサロンを調べる
4	業界を学ぶ②	ネイルサロンを調べる
5	業界を学ぶ③	メイクトレンドを調べる
6	業界を学ぶ④	ファッショントレンドを調べる
7	中間試験	イメージシートの作成提出
8	実習①	各サロンチームを決める
9	実習②	サブテーマを決める
10	実習③	各サロンの準備をすすめる
11	実習④	各サロンの準備をすすめる
12	プレサロン	実際にサロンの流れプレオープン
13	実習③	課題を改善する (実践練習に取り組む)
14	実習④	課題を改善する (実践練習に取り組む)
15	定期試験	サロンオープン(お客様満足度にてフィードバック)評価

科目名 (英)	トレンドネイルⅡ Gel nail for fashion	年次	2	実務経験	担当	殿村雅子
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティー科	単位	4	有	開講区分	後期
					曜日・時間	水曜日 1・2 限
講師紹介	木下ユミメークアップ&アトリエ所属講師 ネイル協会認定講師として活躍し教育に従事している					
目的 科目概要	これまで学んだ技術を応用させ、ファッション性の高いネイルを学ぶ					
到達目標	ファッションやメイクのテイストと合わせ、デザイン性のあるジェルネイルができるようになる。トータルコーディネートとしての完成度を上げる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験 ■ 作品 ■提出課題					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ケアカラー道具、アート道具、ジェル用具、ペーパー、アルミホイル、i pad					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルアート復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ラメグラデーション、カラーグラデーションの復習。相モデル 【履修確認】小テスト2点
2	ジェルアートを覚える①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。フレンチ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
3	ジェルアートを覚える②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。縦グラデ、アンギュラーブラシを使ったアート。チップトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
4	ジェルアートを覚える③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。レース、アニマル柄（ヒョウ、ゼブラ）など柄物。チップトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
5	トレンドアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】オーロラネイル、ミラーネイル。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点（セッティング）
6	トレンドアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】マグネットネイル（様々な柄の入れ方）デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
7	トレンドアート③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】3Dアート（お花、葉っぱ） 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）＋課題点2点
8	中間テスト	【授業形態】講義・実習 【到達目標】中間テスト アートチップ 【履修確認】中間試験20点
9	トレンドアート④	【授業形態】講義・実習 【到達目標】3Dアート（動物など） 【履修確認】小テスト2点
10	ファッションイメージ分類・コラージュ①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ファッションイメージ8分類のなかから2種コラージュを作成し、それに合ったネイルチップ作成 【履修確認】小テスト2点
11	ファッションイメージ分類・コラージュ②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ファッションイメージ8分類のなかから2種コラージュを作成し、それに合ったネイルチップ作成 【履修確認】小テスト2点＋課題点2点
12	セルフコーディネート Natiful①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】自分のメイク・ファッションにあわせたネイルチップをサイズもあわせて10本作成 【履修確認】小テスト2点
13	セルフコーディネート Natiful②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】自分のメイク・ファッションにあわせたネイルチップをサイズもあわせて10本作成 【履修確認】小テスト2点
14	セルフコーディネート Natiful③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】自分のメイク・ファッションにあわせたネイルチップをサイズもあわせて10本作成 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】アートチップ 【履修確認】期末試験50点

科目名 (英)	ブランド研究Ⅲ brand reserchⅢ	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	後期 木 3.4限
講師紹介	ELCジャパン(株)M.A.Cに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。					
目的 科目概要	タッチアップメイク、模倣メイクをおこなう。韓国のブランドを詳しく研究。					
到達目標	韓国トレンドコスメやアイテムを調べ、詳しく知ることができる。タッチアップメイクを学び、実務に活かすことができる。百貨店に行き、目標を定めることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	いろんなブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。	
教材	メイクBOX、iPad					
特記事項	ipadを毎回使用します。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	韓国コスメブランド研究	トレンドが変わりやすい韓国コスメ。バズる理由を考える。今のトレンドを知る
2	韓国ブランドスキンケア研究	韓国スキンケアが売れる理由を考える。スキンケアの成分、特徴
3	韓国コスメで韓国アイドルメイク	トレンドの韓国アイドルメイクを研究
4	MACアーティストになる	模倣メイクに挑戦
5	MACアーティストになる2	模倣メイクに挑戦
6	タッチアップメイクについて	デモンストレーションでイメージつかんで、相モデルでチャレンジ
7	中間試験	6週目までを振り返り実技実施
8	タッチアップメイク	ベースをクレンジング、そしてフルメイク
9	タッチアップメイク	アイシャドウ、チーク、リップの店頭販売方法
10	おでかけ授業準備	百貨店めぐりの準備
11	おでかけ授業	百貨店へ
12	フィードバック	感想や気づいたことなどをまとめ、発表
13	定期試験練習	タッチアップメイクの販売練習
14	定期試験1	2つのグループにわけて定期試験をおこなう
15	定期試験2	2つのグループにわけて定期試験をおこなう

科目名	トータルビューティⅢ	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
(英)	Totarubyuti Ⅲ	授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期(1週目～7週目)
		単位	2		曜日・時間	A 木曜1.2限 / B 金曜1.2限
講師紹介	国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がフェイシャルトリートメントの知識と技術を分かりやすく教える。普段のセルフトリートメントにもその知識を活かしてほしい。					
目的 科目概要	目的:フェイシャルトリートメント全般を理解し効果的な方法を選択できる。 概要:カウンセリング、ディープクレンジング、機器トリートメント、パックを行うための理論と技術を学ぶ。					
到達目標	・お客様の肌の状態を正確に観察し、目的に合ったトリートメント内容を組み立てられる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要説明 クレンジング、マッサージの復習 ゴマージュ	この授業の進め方 ゴマージュの効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
2	ブラシクレンジング パター	ブラシクレンジングの効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する パターの効果、禁忌事項、注意事項、リンパの知識、手順を理解する
3	酵素 イオン導入	酵素の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する イオン導入の効果、禁忌事項、注意事項、導入液の種類、手順を理解する
4	スキンチェック 吸引 パック	モデルの肌の状態を正しく見分ける 吸引の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
5	カウンセリング パック	モデルの肌トラブルを改善するトリートメントプランを考える パックを均一に塗布し正確に除去する
6	カウンセリングと施術	モデルのカウンセリングをし、効果的な施術を行う
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	トータルビューティーⅢ	年次	2	実務経験	担当	川上貴子・村田 藍
(英)	total beauty Ⅲ	授業形態	演習			
学科	トータルビューティー科	時間数	30	有	開講区分	後期（8週目～15週目）
		単位	2		曜日・時間	金曜日1.2限
講師紹介	川上貴子 客室乗務員時代から信頼感や安心感のあるヘアスタイルやメイク、立ち居振る舞いを独自に研究。現在はイメージコンサルタントとしてパーソナルカラー診断、骨格診断、メイクレッスン、ショッピング同行など老若男女問わず実施。 村上藍 客室乗務員からイメージコンサルタントとして独立後、現在3,500人の診断実績。大手企業や結婚相談所、自治体でのセミナーや、全国の百貨店イベントの講師としても活動を広げる。また、敏感肌だった経験から肌に関しての学びや実践を続け、今ではマイナス10歳の肌年齢に。					
目的 科目概要	【総合】世界のファッション業界のトレンドをリサーチし、トータルコーディネートさらにカウンセリング力、提案力をみにつける					
到達目標	世界のエステ・ネイル・メイク・ファッションのトレンドを知り、作品を制作する（セルフプロデュース）					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材						
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
8	【応用】ファッション①	世界のTPOに合わせたジャンルを学ぶ（テーマを決める「国」に合ったもの）
9	【応用】ファッション②	テーマ「国」ビジネスシーン・オフィスカジュアル コーディネート
10	【応用】ファッション③	テーマ「国」キュート・クール・フェミニン コーディネート
11	作品テーマ①	自分自身がモデルになり国・テーマを決める
12	作品テーマ②	イメージシート作成
13	作品テーマ③	実践練習
14	提案力①	今までの振り返りをし課題をみつけ改善する
15	定期試験	発表（プレゼン）

科目名 (英)	トータルビューティⅢ Totarubyuti Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分	後期
					曜日・時間	水曜 3
講師紹介	国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた美容業に必要な知識を分かりやすく教える。 普段のセルフトリートメント時も知識を活用してほしい。					
目的 科目概要	目的:美容業界人のための知識を身につけ、今後の接客で活かす 概要:フェイシャルカウンセリング、肌や体のトラブルの原因と対策、瘦身学、アロマテラピー理論、衛生管理など					
到達目標	・フェイシャルとボディのトラブルを解決するための知識を学び、座学と実技を紐づけ結果を出す ・お客様の肌の状態に合ったアドバイスが出来る					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験					
教科書	理論と技術(日本エステティック協会発行)			事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要説明 フェイシャルコンサルテーション	この授業の進め方、 フェイシャルトリートメントの種類と効果 肌トラブルの記入方法
2	フェイシャルコンサルテーション フェイシャル実技理論	肌トラブルの原因を探る方法 ブラシクレンジング、バター実技理論
3	エステティックカウンセリング フェイシャル実技理論	カウンセリングとコンサルティングについて 酵素、イオン導入実技理論
4	ホメオスタシスについて フェイシャル実技理論	ホメオスタシスの定義とストレスについて 吸引実技理論、フェイシャルパックの種類について
5	コンサルテーションシートの書き方	総合所見、トリートメントの目的、プラン作り
6	コンサルテーションシートの書き方	ホームケアアドバイスの記入方法
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	化粧品学	化粧品と法律 フェイシャル化粧品の目的と働き
9	栄養学	5大栄養素とその働き 美容と栄養
10	衛生管理	衛生と消毒の必要性 備品の消毒方法
11	ボディのトラブルについて	むくみ、セルライト、冷えについて
12	瘦身学	BMI法、体脂肪率、消費カロリーと摂取カロリーについて
13	アロマテラピー理論	アロマテラピーの歴史と精油の効果
14	アロマテラピー理論	アロマテラピーの使用上の注意、活用法
15	定期試験	これまでの授業の理解度を確認する

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅳ		年次	2	実務経験	担当	相馬 ひかり
(英)	Career Development Ⅳ		授業形態	講義			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期	
		単位	2		曜日・時間	火曜日 3限	
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。						
目的 科目概要	グループワークや個人ワークを通して、他者理解や自己価値を発見し、社会に出たときに対応できる力や精神力を身につける 社会人基礎力に必要な能力【前に踏み出す力】「考え抜く力」【チームで働く力】を習得することができる						
到達目標	自己発見を行い、希望の就職先への内定に繋げる						
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験						
教科書	なし スケジュール帳・筆記用具・iPad		事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身につけましょう）						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	後期目標設定	前期を振り返り、後期の目標設定。 就職活動の流れを含んだ後期のスケジュールを理解する。
2	社会人基礎力	社会人になる為の基礎を学ぶ。
3	グループディスカッション①	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
4	グループワーク②	グループワークを通しての気づきをまとめ、それを活かすためにどの様にしていこうかを考える。
5	社会人基礎力	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
6	社会人基礎力	人前で報告する。
7	中間テスト	中間試験(1-6回目のまとめ)
8	社会人基礎力	5年後、10年後のビジョンについて考える
9	グループディスカッション①	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
10	グループワーク②	グループワークを通しての気づきをまとめ、それを活かすためにどの様にしていこうかを考える。
11	社会人基礎力	社会人としてのマナーを身につける。(上座・下座)
12	社会人基礎力	社会人としてのマナーを身につける。(電話対応)
13	社会人基礎力	伝える力を学ぶ。
14	2年間の振り返り	これまでのおさらい、就職や卒業に向けて取り組むべきことの確認
15	定期試験	定期試験(8-14回目のまとめ)

科目名 (英)	トレンドリサーチⅢ trend researchⅢ	年次	2	実務経験	担当	生田元慶
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 / 1・2限
講師紹介	大学時に企業し、現在は株式会社BEYONDLuneタレント事業統括責任者、CM、PVのショート動画制作とZ世代を皮切りにモデル・タレント等のキャスティング事業に注力しこの経験を教育育成へ務めている					
目的 科目概要	業界に求められるデジタルスキルを習得を目的とする演習形式の授業 トレンドリサーチⅠ・Ⅱで学んだことを応用し、実査に発信し数字の変化と改善策を学ぶ					
到達目標	インフルエンサーレベルでのマーケティング・撮影＆動画編集スキルの応用を身に付け、SNSをビジネスの場で実際に配信し活用できる人材を目指す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	適宜紹介する /ipad／筆記用具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	SNSTrend①【応用】	業界知識とSNSの活用親和性
2	SNSTrend②【応用】	コンテンツ制作・撮影
3	SNSTrend③【応用】	投稿制作の実習・制作時間
4	SNSTrend④【応用】	音楽や音の業界知識とSNSの活用親和性
5	SNSTrend⑤【応用】	音楽や音を使ったコンテンツ制作・撮影
6	SNSTrend⑥【応用】	投稿制作の実習・制作時間
7	中間テスト	投稿分析・インサイト分析とフィードバック
8	SNSTrend⑦コスメ編【応用】	コスメ・美容の業界知識とSNSの活用親和性
9	SNSTrend⑨コスメ編【応用】	コスメ・美容商材を使ったコンテンツ制作・撮影
10	SNSTrend⑩・コスメ編【応用】	投稿制作の実習・制作時間
11	セルフプロデュース⑪芸能編【応用】	芸能事務所の講師より各生徒の特徴にあウオーキング・ポーズ・素材活用をディスカッション。
12	セルフプロデュース⑫芸能編【応用】	芸能事務所の講師より各生徒の特徴にあうスタイルを実演。
13	セルフプロデュース⑬芸能編【応用】	撮影動画・素材の編集と投稿
14	投稿相談会	セルフプロデュースの授業でも実際のSNS投稿を行なっているの、両授業の中で課題に思っていることなどを相談、解決策をともに見つけ出す。
15	期末試験	投稿分析・インサイト分析とフィードバック

科目名	セルフプロデュースⅡ	年次	2	実務経験	担当	生田元慶
(英)	Self produceⅡ	授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	金曜 / 3・4限
講師紹介	大学時に企業し、現在は株式会社BEYONDLuneタレント事業統括責任者、CM、PVのショート動画制作とZ世代を皮切りにモデル・タレント等のキャスティング事業に注力しこの経験を教育育成へ務めている					
目的 科目概要	トレンドリサーチで学んだ各SNSの応用を学び、トレンドリサーチⅠで学んだデジタルマーケティング・配信・企画のプレゼンテーション力を活かして、自身の魅力を効果的に発信する方法を実践形式で取得を目指す。					
到達目標	インフルエンサー、または企業広報としての発信技法を身につけ、企業からみて「即戦力」と判断をいただけるレベルに到達する					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	適宜紹介する /ipad／筆記用具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	セルフプロデュース①(応用)	振袖・卒業袴の業界知識とSNSの活用親和性
2	セルフプロデュース②(応用)	振袖・卒業袴のコンテンツ制作・撮影
3	セルフプロデュース③(応用)	投稿制作の実習・制作時間
4	セルフプロデュース①・写真・カメラ編(応用)	カメラマンの講師より各生徒に合わせた写真撮影方法のレクチャーをディスカッション。
5	セルフプロデュース②・写真・カメラ編(応用)	カメラマンの講師より各生徒の撮影を実演。
6	セルフプロデュース③・写真カメラ編(応用)	撮影写真・素材の編集レタッチ
7	中間テスト	インサイト分析
8	セルフプロデュース⑦制作編(応用)	制作会社の講師より各生徒の特徴にあウオーキング・ポージング・素材活用をディスカッション。
9	セルフプロデュース⑨制作編(応用)	制作会社の講師より各生徒の特徴にあうスタイルを実演。
10	セルフプロデュース⑩制作編(応用)	フィード撮影動画・素材の編集と投稿
11	セルフプロデュース⑫コスメ・メイク編(応用)	アパレルクリエイターの講師より各生徒の特徴にあうファッションをディスカッション。
12	セルフプロデュース⑬コスメ・メイク編(応用)	アパレルクリエイターの講師より各生徒の特徴にあうファッションを実演。
13	セルフプロデュース⑭コスメ・メイク編(応用)	撮影動画・素材の編集と投稿
14	投稿相談会	SNS運用がうまく行っているかどうかを振り返り、分析する力を身につけるための実習。
15	期末試験	課題提出と発表

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅳ General Make Up Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	高岸 裕一
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	後期 火曜1・2限
講師紹介	コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くのヘアメイク現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	ヘアとメイクのトータルスキル年代別とアイコンヘアメイク。時代背景、ファッショントレンド、流行色、ヘア&メイクの特徴を学ぶ。					
到達目標	年代別の時代背景、ファッショントレンド、流行色、ヘア&メイクの特徴を理解し表現できる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	配布資料			事前事後 学習と その内容		
教材	メイク道具一式・iPad					
特記事項	必ずiPadを用意する					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	デザインワーク・年代別説明	年代別メイクの説明。デザインシートにヘア・メイクイメージを作成する。技術チェック
2	1920年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
3	1920年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
4	1930年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
5	1930年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
6	中間試験対策	年代別ヘア&メイク 60分
7	中間試験	年代別ヘア&メイク 60分
8	1940年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
9	1940年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
10	1950年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
11	1950年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
12	1960年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
13	1960年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
14	期末試験対策	年代別ヘア&メイク 60分
15	期末試験	年代別ヘア&メイク 60分

科目名 (英)	現場実習Ⅳ field trainingⅣ	年次	2	実務経験	担当	相馬　ひかり
		授業形態	演習			
		時間数	120	有	開講区分	後期
学科	トータルビューティ科	単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応・提案の基礎を学ぶ					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応・提案の基礎を身に付ける					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。 ■					
教科書	Hand-book of Life Style			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に付けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	現場実習 V	年次	2	実務経験	担当	相馬　ひかり
	field training V	授業形態	演習			
		時間数	120	有	開講区分	後期
学科	トータルビューティ科	単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応・提案を実践する					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応・提案を実践できる					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS（合格）、U（不合格）とする。 ■					
教科書	Hand-book of Life Style			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に着けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	現場実習Ⅵ field trainingⅥ	年次	2	実務経験	担当	相馬　ひかり
		授業形態	演習			
		時間数	120			
学科	トータルビューティ科	単位	8	有	開講区分	後期
					曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応・提案を総合的に実践する					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応・提案を総合的に実践できる					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の２要素で評価する。 評価はＳ（合格）、Ｕ（不合格）とする。 ■					
教科書	Hand-book of Life Style			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に着けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	実習後教育 education post practical training	年次	2	実務経験	担当	相馬　ひかり
		授業形態	講義			
		時間数	60			
学科	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分	後期
					曜日・時間	集中授業
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップの経験を自身の立てた目的・目標に対して振り返り・課題と対策・行動計画を立案する					
到達目標	就職を控え、実習・インターンシップの経験を言語化し今後の課題を明確にする。 自身の課題に対して対策・行動計画を立てられる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験					
教科書	Hand-book of Life Style			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身に付けよう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1・2	実習振り返り 1	実習で得た経験を振り返り、言語化する
3・4	実習振り返り 2	実習で得た経験を振り返り、言語化する
5・6	実習振り返り 3	実習で得た経験を言語化し発表する準備をする
7・8	実習振り返り 4	実習で得た経験を言語化し発表する準備をする
9・10	実習振り返り 5	実習で得た経験を言語化し発表する準備をする
11・12	実習振り返り 6	実習で得た経験を言語化し発表する準備をする
13・14	中間試験	実習で得た経験を言語化し発表する
15・16	目標の再設定	就職後の目標を再設定する
17・18	自身の課題は？	就職に備え自身の課題を明確にする
19・20	課題を克服するには？ 1	課題に対しての対策を検討する
21・22	課題を克服するには？ 2	課題に対しての対策を検討する
23・24	行動計画を考える 1	課題克服に向けての行動計画を検討する
25・26	行動計画を考える 2	課題克服に向けての行動計画を検討する
27・28	行動計画をまとめる	実習の経験から課題・対策・行動計画をまとめ発表の準備をする
29・30	期末試験	実習の総括をまとめ発表する

科目名 (英)	トータルサロンⅡ (学内コンテスト) Total saron Ⅱ (In-campus contest)	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	後期
学科	トータルビューティ科	単位	2		曜日・時間	集中授業
講師紹介	ELCジャパン株式会社M.A.Cでビューティアドバイザーとして13年間勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営にも従事していた。					
目的 科目概要	1年次で学んだ美容知識や技術を振り返り、学内コンテストにて業界の方に評価を頂き、自分自身の課題を見つけ技術や知識を向上させる					
到達目標	美容の職種で大事な、提案力や接客力を磨き、お客様に指名される美容のプロを目指せるようになる。カウンセリング力やコミュニケーション力を養うロールプレイングにて、セルフプロデュース表現力を磨く					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 ■提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	トレンド①メイク	最新のメイクトレンドの研究 (レポート提出)
2	トレンド②ネイル	最新のネイルトレンドの研究 (レポート提出)
3	トレンド③エステ	最新のエステトレンドの研究(レポート提出)
4	トレンド④ファッション	最新のファッショントレンドの研究(レポート提出)
5	セルフビューティ①	各自サブテーマを決める
6	実習①	実践練習に取り組む①
7	中間試験	イメージシートの作成提出
8	実習①	実践練習に取り組む
9	実習②	実践練習に取り組む
10	プレゼンテーション①	テーマに合わせたプレゼン内容をつくる
11	プレゼンテーション②	プレゼンテーション 発表
12	プレコンテスト	タイムを計りを実施し、課題を見つける
13	実習③	課題を改善する (実践練習に取り組む)
14	実習④	課題を改善する (実践練習に取り組む)
15	定期試験	サロンオープン(お客様満足度にてフィードバック)評価